

## 第8回 児童館・児童クラブのあり方検討部会合同会議 会議録

第8回 仙台市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 児童館・児童クラブのあり方検討部会 会議録

第8回 仙台市子ども・子育て会議 児童館・児童クラブのあり方検討部会 会議録

1 日時 令和6年3月4日（月）10：00～11：00

2 会場 青葉区役所 9階第1会議室

### 3 合同会議委員出席数

委員定数10名（出席委員8名）

- ・出席委員 植木田潤議長、飯島典子副議長、佐藤哲也委員、佐藤富美子委員  
佐藤真奈委員、橋本潤子委員、平山乾悦委員、三浦正幸委員
- ・欠席委員 川村美智委員、丹野由紀委員

4 会議録署名委員 植木田潤議長、飯島典子副議長、平山乾悦委員

### 5 議事

(1) 報告事項

- ①児童館・児童クラブのあり方検討報告書中間案に関するパブリックコメント  
の実施結果について

(2) 協議事項

- ①児童館・児童クラブのあり方検討報告書最終案について

---

### 議事要旨

1 開会

2 議長挨拶

3 議事

(1) 報告事項

- ①児童館・児童クラブのあり方検討報告書中間案に関するパブリックコメントの実施結果について

資料1-1、1-2に基づき、児童クラブ事業推進課長が説明。

(質疑応答、意見交換)

なし

## (2) 協議事項

### ①児童館・児童クラブのあり方検討報告書最終案について

資料 2-1、2-2、資料 2-2 参考資料に基づき、児童クラブ事業推進課長が説明。

#### (質疑応答、意見交換)

**佐藤哲也委員** 23 ページに支援の単位の注釈を追加したということだが、項目のすぐ下にあると分かりにくいのではないか。

**児童クラブ事業推進課長** 脚注と本文中に注釈がある場合が混在しているため、修正したい。

**飯島副議長** 他のページにも「※」(米印) で注を設けているところがあるが、これらを含め全体を通して、区切り線の下に脚注として設けるということによいか。その方が分かりやすいと考える。

**児童クラブ事業推進課長** 図表の真下にあるものは、図表に関するものであるためそのままとし、その他の本文中にあるものについては脚注に統一したい。

**植木田議長** それでは、具体的な修正内容については議長、副議長に一任いただければと思う。

**植木田議長** 本日の合同会議が最後の会議となるため、皆様それぞれのお立場から、今回とりまとめた児童館・児童クラブのあり方に対する感想などをいただければと思う。

**橋本委員** 課題が多くある中、予算などにより分かっているにもかかわらず進められない部分もあり、これからが大変だと感じている。やはり課題として、施設が狭く、密度が高いため、子どもたちが長時間いる場所としてはなかなか苦しいということがあるかと思う。

今後、一番重要なのは小学校との連携である。校長により、同様のアプローチをしてもうまく連携が取れる場合とそうでない場合がある。最終案の修正として学校との連携について追加している旨の説明があったが、枠組みとして連携を図っていく必要があることが学校側にも理解してもらえると非常によいと思う。

**平山委員** 現場職員や利用者から問題点や要望を丁寧に拾い上げ、報告書に反映されている。今後の児童館・児童クラブのあり方のひとつの物差しが示された形であり、とてもよい報告書となったと思う。

**三浦委員** パブリックコメントの意見が 158 件あったが、その回答がこれまで検討してきた内容でほとんど網羅されているということが確認できてよかった。

また、幸町児童館の小学校との合築化が予算案に載っていたが、合築化が合同会議の検討と並行して進められており、よい流れになっていると感じた。

**佐藤真奈委員** 私自身、親としてはあまり児童館・児童クラブに関わりがなかったが、こんなに様々な課題があることを会議に参加して初めて知った。会議参加に当たり、利用している保護者の意見を聞くなどしたが、差し迫った課題として挙げられていたものを含

め、すべてがこの報告書に詰まっていると感じている。そして、ここからが大変であるとも感じている。少しずつ形になっているとは聞いているが、報告書の内容がすべて反映されたら、児童館・児童クラブは素晴らしいものになると期待している。

**佐藤富美子委員** 今すぐにはできること、中長期でやることが記載され、分かりやすいものとなっていると思う。児童館職員からも感謝の声が多く届いている。また、利用者についても、仙台市への転入者がホームページで会議の経過を確認し、「こんなに自分たちのことを考えてくれている仙台市に引っ越してきてよかった」と話すなど、児童館のイベントに参加するとみんな感謝しており、とてもうれしく感じた。

**佐藤哲也委員** 子どもをめぐる政策を考えていくことは非常に難しいと感じている。今を生きる子どもの人権や生活をしっかり保障し、QOLを上げてあげたい。一方で、中長期的には、昨年の出生数が約75万人と少子化が進んでおり、児童のための施設等に多くのお金を充てることについては、その部分への目配りも必要である。仙台市の場合は転入者が多く人口の流動性が高いため、先が読めない中での検討となるという難しさもある。子どもを産み育て、子ども自身が希望を持てる日本、そして仙台市にしていくために、新しい法令や指針に沿い理念を尊重しながら、大人の都合ではなく、子どもをまんなかにとの思いを持ちながら報告書を取りまとめることができたことは大きな前進と捉えている。今後も大変かとは思いますが、色々なところと連携を図りながら、仙台の子ども、背景にいる大人の幸福につながる施策が実現されたと願っている。

**飯島副議長** このように形にできたのは、それぞれ専門の方からご意見をいただいたことや事務局の努力が大きかったと思う。児童館は、児童福祉施設の中でも議論の中心となることが少ない施設の一つであり、このようにまとめられたことは大きな一歩であると感じている。結果として今後検討となったものもあったが、後ろ向きな理由ではなく、今後の状況を見た上で結論を出すべきもので、私としてはいい意味での持ち越しと捉えている。

これまで我々が議論してきたことは、子どもたちの生活の場をどうするかが中心であったと思う。結論としては、システムとしてなにをやっていくかという形になるが、検討の際に我々が一番に考えていたことは、子どもにどう育ててほしいのか、大人になる過程をどう経ていってほしいのかということであった。子どもたちにとっては、「自分たちのことをこんなに真剣に考えてくれる大人が周りにいるんだ」ということが、生きていく上で大きな希望になっていく。そのような希望が大きければ、子どもたちは仙台市で生きていきたいと思うようになり、まちが発展していくことにつながると考える。そのような意味では、今回検討してきたことが子どもたちの人生に関わる大きな前進となったのではないかと考えているので、今後もますます発展することを期待したい。

**植木田議長** 私からは2点お話しさせていただく。1つ目が、子どもたちの遊び場が少なくなり、段々とバーチャルの世界に遊び場が移行してきている。バーチャルにも良い点はあるが、トラブルを起こしたり、ケンカをした際にオフライン状態になったまま関係修

復の機会が持てないなどの課題もあり、トラブルや失敗から学ぶという点ではリアルの関係に勝てない部分がある。人と人との直接のつながりの中で育ちあう場がますます重要になる一方で、少子化が進みあまりお金をかけられない難しさもあると思う。しかしながら、巡回指導などで要支援児に携わる中で、子育てはタイムパフォーマンス、コストパフォーマンスではないのだと感じた。その部分をしっかりと受け止めて、よりよい児童館・児童クラブのあり方を今後も考えていかなければならないと思う。

もう1点が、様々な今後の方向性が出てきたが、毎日現場で子どもと接している職員にとっては、安全安心な空間づくりに対してはまだまだ改善点があるものと思う。子どもが育つためには、大人にも余裕や安全安心が必要であるので、職員への安全安心づくりについても進めていかなければならない。エアコンや設備も重要であるが、職員が毎日安全安心を感じ、やりがいを持って働ける環境整備のきっかけにこの報告書がなるとよい。児童や保護者、職員など現場のニーズを拾いながら、この報告書を基に進んでいただければと思う。

以上で、児童館・児童クラブのあり方検討部会は役割を終えることとなるが、これまで児童館・児童クラブをよりよいものとするため活発な議論にご協力いただき、感謝する。それでは進行を事務局にお返しする。

#### 4 閉会

**推進係長** とりまとめいただいた児童館・児童クラブのあり方検討報告書については、3月18日の仙台市子ども・子育て会議にて報告する予定としている。

**次長兼子ども若者支援部長** 本日が最後の合同会議であるため、私からも一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様には、令和4年9月から約1年半にわたって、全8回の合同会議にて児童館・児童クラブについて熱心にご議論いただいたこと、心より感謝申し上げます。委員の皆様からそれぞれご感想をいただく中で事務局の労をねぎらうお言葉も頂戴し、感無量である。児童館においては、児童クラブの全学年受入れなどにより発生した課題などを感じながらもなかなか対応が進んでいなかったところを、このように様々な立場から議論いただき、報告書をとりまとめいただいたことで、私どもとしてもやるべきことが明確となり、今後予算を確保の上、計画的に推進する方向が見えたと感じている。本日で合同会議は終了となるが、皆様にとりまとめいただいた報告書については、今後植木田議長より本市へ直接提出いただく場を設ける予定である。そして、その後仙台市として報告書の内容をしっかりと受け止め、各般の施策を計画的に推進してまいりたいと考えている。委員の皆様には、今後とも児童館・児童クラブ事業にご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

以上